

生活支援体制整備事業 第2層生活支援コーディネーター 活動報告 (令和6年度①)

【北区体制整備事業活動報告～浮間エリア編 まちかどなんでも相談会 in わくフェス】

浮間ふれあい館周辺には高齢・障害・こどもと様々な分野の6つの社会福祉法人や NPO 法人が活躍し、定期的に協議体で連携の話し合いをしています。

浮間エリアではしげん Café わくわくさんが「わくフェス」という名前で不定期に屋台やミニゲーム

コーナー、リサイクル市を行っているのですが、4月は協議体も共催し「放課後デイツミきの作品展」「まちかどなんでも相談」という2つの企画を行いました。

カフェスペースに放課後デイツミきの子どもたちの作った作品をカフェに展示することで、地域の皆さん方の会話も弾み、たくさん子ども達も遊びに来てくれました。「まちかどなんでも相談」は初めての試みだったので、ほぼお客さんはいませんでしたが（写真は民生委員さんがモデルで撮りました 笑）これからに期待ですね。「身近なハードルの低い相談窓口」として根付いていけばと期待しています。



【北区体制整備事業活動報告～医療連携編】

今回は東京北医療センターの総合診療科の有志の先生方（通称「畑隊」の皆さん）と赤羽エリアの生活支援コーディネーターで行った情報交換会のご紹介。赤羽台にある東京北医療センターには「総合診療科」という科があり、「うちの科じゃない」と言わずに患者さんをまるごと診たい」という思いを強く持ったドクターの皆さんが一般内科外来の方を多く診ていらっしゃるそうです。その中には、「けがで以前通っていたジムに行けなくなり、それがきっかけに具合が悪くなってしまった」など、病気の背景に社会的なつながりが少ないことが原因では？と考えられる方も少なくないそう。

今回、近隣エリアの生活支援コーディネーターとCSWで病院にお邪魔し、それぞれの仕事内容や地域での身近な集い場等について意見交換を行いました。地域の「孤立」「社会参加の場づくり」について、分野を超えて一緒に取り組めることは私たちにとって心強いことです。今後も身近な相談場所から孤立予防につながるような居場所につなげられるよう、ネットワーク強化にも取り組んでいければと思っています。



【北区体制整備事業活動報告～新町光陽苑エリア編 「レコードを楽しむ会」】

以前ぶらっとほーむ滝野川東のレコードプレイヤーを借りて社協主催で開催しましたが、ただいま新町光陽苑エリアでは住民の皆さんと話し合いながら、素敵な場所ができつつあります。

まずはこの写真の立派なレコードプレイヤー！なんと地元の方の私物です。真空管なので壊れてしまったら替えはきかないそう…。そしてこの素敵なレコードとCDの数々！もちろん参加者の皆さんの私物で



す。思い出が詰まったレコードなので、素敵なウンチクやその当時のエピソードがふられています。このレコード、おこづかいはたいて買ったな、このライブレコードの拍手に自分の拍手も入っているぞ、などなど。皆さん、この会の前日からどのレコードを選ぶかわくわくしていたそうですよ。CDプレイヤーも持ってきてくださったので、ぜいたくにレコードとCDの聞き比べまでできました。全然違います！

つぎはどんな感じで開催しましょうか？そんな話し合いも行われています。

【北区体制整備事業活動報告～滝野川エリア編「地域でハードル低く集える場の模索」】

コロナ前に開催されていたサロンも、だいぶ元の形には戻りつつありますがいまだ再会できていないところもあります。高齢者施設や病院を活用させていただいた居場所は、いまだ面会者制限がかかっているところもあり、以前の通りには難しいのも現状です。

そんななかですが、今回病院を「場所」として提供くださるお話をいただいたため「だれでも敷居が低く集まれる場」を地域の皆さんと作れないかと、滝野川西・飛鳥晴山苑・十条台という3つの高齢者あんしんセンターの生活支援コーディネーターさんが作戦会議を重ねています。病院は地域の人であれば誰でも知っているランドマーク。近隣の方々にとっては行きやすい場所なので、なかなか今まで参加の機会がなかった方々にも広報するチャンスです！

一緒に仲間になって作ってくれる人いないかな？こんなこと地域の人たちと一緒にできないかな。最近外出機会の減ったあの人に来てほしいな…。地域に根付いた集い場を作るために、地域の方々や関連機関との話し合いをこつこつ重ねていきたいと思っています。



生活支援体制整備事業 第2層生活支援コーディネーター 活動報告
(令和6年度②)

【北区体制整備事業活動報告～滝西エリア「滝西カフェ」編】

孤立予防のためにだれでも気軽に参加できる居場所を増やしたいと日々生活支援コーディネーターは活動しています。でも素敵な活動をしている場が近所にあっても「一人で参加」をためらってしまうこともあるかもしれません。

滝野川西ふれあい館は滝野川西管内9つの町会協働で「自主管理委員会」を立ち上げ28年間も運営しています。さらに10年にわたり月1回、皆さんが気軽に集える「滝西カフェ」も開催しています。「60歳以上・滝西管内在住のお元気な方」であれば参加OK。一人参加でも寂しくならない工夫をしてくれているので、毎回50名前後の参加があるそうです。

ティータイムあり、軽い運動あり、演奏あり、ゲームありで内容も盛りだくさん！毎回すべての町会から運営を手伝うメンバーがでて、かわいい白いエプロンでもてなしてくれます。皆さん笑いが絶えず、こんなところであれば一人でも気軽に参加できそうです。

地域の方々が自分たちで介護予防や孤立解消に取り組む、お手本のような居場所でした。そんなところを私たちも増やしていけるよう、これからもご指導よろしくお願いします！



【北区体制整備事業活動報告～地元スーパーとの連携編】

誰もがいくスーパーは、買い物以外にも「情報提供」という意味でも私たちの生活を支えてくれています。地域の掲示板・北区ニュース・SNSなどたくさんの情報媒体はありますが、意識してみないと情報は流れてしまうもの。特に、高齢の方は細かい字があまり見えなくなったり、社会参加の場の減少などで情報が入らない方も多いといわれています。

そんなことを感じていた十条台高齢者あんしんセンターさんがサミットストアの店長さんと相談をし、入り口付近で「高齢者あんしんセンターミニ紹介コーナー」を作り広報活動を試みようということになりました。サミットに買い物に来ている近隣のエリア担当の飛鳥晴山苑・滝野川西高齢者あんしんセンターにも声をかけ合同の開催です。

金曜日の11時～たくさんのお客さんがいらっしゃる中、さっそく「高齢者あんしんセンターってなに？」と声をかけてくれる方が。自分の住んでいるエリアの職員さんと顔を見てお話しできると、より具体的な紹介や相談につながっていきます。2時間ほどの滞在でしたが20名ほど立ち寄って、お話を伺うことができました。

こんな顔の見える相談の機会を、これからも様々な関連機関と連携をして開催していきたいと思っています。



【北区体制整備事業活動報告～王子エリア連絡会編】

毎年北区の中を王子・赤羽・滝野川という3つのエリアに分け、高齢者あんしんセンターと地域の方々が一緒に地域課題について意見交換を行う連絡会が開催しています。今年の王子のテーマは「地域のつながりの大切さ～おたがいさまな寄り添い方」。

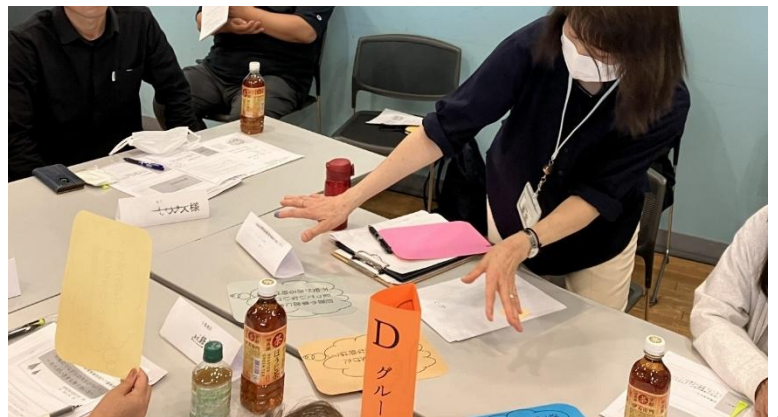
みなさんは近隣のあまり付き合いのない高齢者の気になる行動を見てしまったらどのようなアクションをされるでしょうか？

…はじめは様子を見る、すぐ高齢者あんしんセンターへ連絡する、ひとまず声をかけてみる、全く知らない人だと声をかけるのはためらってしまうよね、などいろんな回答が出てきます。

「少しでも顔見知りだったら、もう少し気軽に声をかけて相談にのれるのにね」という声も多く、何か起こってからではなく、起こる前から「少しでも顔見知りになる」というようなゆるやかなつながりが必要だということを改めて感じた

会議となりました。「ゆるやかにつながる、顔見知りになれる場」を地域の方々と一緒に作っていくのも生活支援コーディネーターの役割の一つです。

今後も地域の皆様方と考えながら、そんな場を一緒に作っていきたいと感じています。



【北区体制整備事業活動報告～昭和町・堀船「ひまわりの会」編】

北区では以前「高齢者ふれあい食事会」という名前で、30か所程度高齢者が楽しく集って食事をとれる場がありました。コロナ禍となり中止になってしまいましたが、令和6年度からは「シニアふれあい食事会」という名称に代わり、区より補助金を受けた団体による食事会の開催が少しずつ始まっています。

堀船三丁目団地の集会所で開催されている「ひまわりの会」もそんな食事会の一つ。月に1回日曜日のお昼に「カレーの会」を開催されています。10人ほどのひまわりの会の皆さんでカレーを作っているそうで、その日は50人余りのお客さんが入れ代わり立ち代わり集会所に顔を出し、おいしいカレーを食べていました。



「こんな近くでやってくれるから本当にうれしい」「今回で3回目だけど、おいしくて3回とも来ている」とすでに常連になりつつある方がたくさん！

また、「あの人まだ来ていないね。声かけてあげようか」とスタッフの皆さんも細やかに地域の方々に声掛けされていたのが印象的でした。

昭和町・堀船高齢者あんしんセンターの職員も顔を出し、カレーの会の広報をしたり、心配な方に声掛けをしたりといい関係で運営されています。こんな素敵な会が北区中に広がっていくことを、これからも応援していきます